

杉戸町今昔往来伝

古きをたずねて
杉戸を再発見

第106回

郷土の偉人・大島有隣
— 石門心学入門⑧ —

大島有隣は、大島村（現杉戸町大字大島）で代々名主を務める家に、関口保宣と同じく、宝暦五年（一七五五）に生まれています。通称は幸右衛門、名は義展とも称したようです。伝承（大島家系譜）によれば大島家は、有隣の祖である大島右京亮義之が嫡子泰継とともに、下総結城（現茨城県結城市）より移り住み、新田を開発、家姓を村名としたといえます。いわゆる村の草分けであり、同村が旗本三宅氏の所領となつて以降は、三宅氏用人を務める家でもありました。

有隣が保宣と同じく中沢道二の門を叩いたのは天明三年（一七八三）のことですが、石門心学のメッカである京都にまでその名が知られるようになったのは、寛政年間末頃（一八〇〇年頃）のようです。京都心学の泰斗である上河淇水が、関口保宣へ宛てた寛政十二年九月四日付の書状中に「…尚々大島御氏へ御逢被成候はば、□□御傳聲可被下奉頼候…」と見えることからわかります。実は、この前年に淇水は関東への遊説の中で、大島村の恭侯舎でも講説していました。その後、有隣という人の存在を知ったと考えられます。

また、年末詳ながら境好古なる人物が、淇水へ宛てた書状には、以下のような記述があります。

「…一、先年京都御所司代被遊御勤候久世大和守様御儀、（中略）御在所は甫仙様之御在所大嶋村より式里斗りも御座候御城下二御座候、何れの筋合より御聞被遊候義二哉、大嶋村近在心学流行いたし候義、殿様御聞及被遊、大嶋村幸右衛門殿、同村甫仙殿被召、両三席御聞被遊候所、御聞入被遊候御家中一統二執行仕候様二被仰付、殊外御信仰之由、昨日大嶋村大嶋幸右衛門殿被参、御咄二御座候、…」

京都所司代も務めた関宿藩主久世大和守（広明）が大島有隣・関口保宣の兩人を召し出し、心学講義を受けていること、大島村周辺で心学が流行していること、そしてそれらがこの書状を通じて、しかと京都の淇水の耳にまで届いていることなどがわかります。

※用人：旗本の家臣で、金銭の出納や雑事をつかさどつたもの。

※京都所司代：江戸幕府の職名。京都に常駐し、江戸にいる将軍に代わり、朝廷や西国大名にらみをきかせた。

（社会教育課 町史・文化財担当編）

みんなでつくる 愛される図書館⑥

問合せ

町立図書館 ☎ (33) 4056



図書館イベント

読書に関わる楽しいイベントは新しい分野の本に興味をもったり、読書習慣を身に付けたりするきっかけに繋がるため、図書館では様々な読書イベントを開催しています。ぜひご参加ください。

【町立図書館イベント一覧】（予定は変更となる場合があります）

- ・ **毎週土曜日 14時～14時30分**
子どものおはなしかい（幼児～小学生対象）
- ・ **毎月第1水曜日 10時30分～12時**
0・1・2歳の絵本さがし
- ・ **毎月第2水曜日 11時30分～12時**
小さい子のおはなしかい（乳幼児親子対象）
- ・ **6・9・12・3月**
サンサンシネマ（映画上映）
- ・ **7月 2日間**
図書館お泊り会（町内小学6年生対象）
- ・ **7月** 朝活図書館
- ・ **8月** 夏休み宿題頑張り隊
- ・ **11月**
修読旅行（中～高校生対象）
- ・ **3月第1日曜日**
図書館まつり（図書リサイクル会など）

一覧以外にも季節に合わせたおはなしかいやイベント等を行っています。また、おはなしかいは西公民館でも開催しています。詳しくは、「広報すぎと」や「すぎめー。」等でご確認ください。



UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。



杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE